【現代の国語】①　　　一年（　　）科（　　　）番　氏名（　　　　　　　　　　　　　）

単元のはじめ

【はじめに】　教科書の絵

※メモ欄

* 「　　　　　　」

※具体例

【教材のタイトル】

1. 「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」
2. 「　　　　　　　　　」

【今回の単元の目標】

・（　　　　　）と（　　　　　）の関係を整理する。

・論の展開のパターンを理解する。（　　　　　　　　）

・最後に「　　　　　　　」をテーマにした意見文を書く。

【現代の国語】②　　　一年（　　）科（　　　）番　氏名（　　　　　　　　　　　　　）

「ありのままの世界は見えない」

【事例と主張を整理する】　→　「　　　　　」（思考モデル）

★教科書の事例と主張を区別するために、事例のみを書き出そう。

【振り返り】（知識）

・「帰納」の意味を理解することができた。　　　　　　　（　◎　・　○　・　△　）

・教科書の文章の事例と主張を区別することができた。　 （　◎　・　○　・　△　）

【現代の国語】③　　　一年（　　）科（　　　）番　氏名（　　　　　　　　　　　　　）

「ものとことば」

【事例と主張を整理する】　→　「　　　　　」（思考モデル・応用）

★応用：筆者の主張を支えるような事例を自分で調べ、メモしておこう。

　ヒント：一般論の例外を探してみよう。

※全体共有で出た事例もメモしておくこと。

【振り返り】（知識）

・一般論と筆者の主張の違いを理解することができた。　 　　（　◎　・　○　・　△　）

・筆者の主張を補うような事例を複数挙げることができた。　 （　◎　・　○　・　△　）

【現代の国語】④　　　一年（　　）科（　　　）番　氏名（　　　　　　　　　　　　　）

意見文　準備

【テーマ】　「　境界線　　」

【使用する思考モデル】　「　　　　　　」　・　「　　　　　　　」

1. タイトル「　○○の境界線　」を決める。　　　　　　　　　　　※視点、切り口を選ぶ。

　　　　（　「　○○と●●の境界線　」も可。　）

1. 情報収集　※タイトルに関わる事例をたくさん調べてみる。体験談でもよい。
2. 自分の考え・主張をまとめる。
3. 「②」で調べた事例のうち、自分の主張の支えとなる事例を選ぶ。（★印をつけておこう）
4. 【使用する思考モデル】のうち、

自分の意見文にとってどちらを使う方が適切か判断する。（★印をつけておこう）

1. 裏面で、【意見文の流れ】を参考にしながら思考モデルも使い、意見文の骨組みを書く。

（下書き）

【思考モデルを使いながら、意見文の骨組みを書く】

【意見文の流れ】

1. 問題提起・自分の意見（結論）
2. 一つ目の事例　もしくは　比較の対象一つ目
3. 二つ目の事例　もしくは　比較の対象二つ目
4. 自分の意見（結論）

【評価】　※教科書　一九四ページ参考

・理解しやすく適切な語彙や表現で、書くことができた。（知識）

・論の展開の仕方を取り入れて書くことができた。（思考）

・何が結論なのか、明確に書くことができた。（思考）

・結論を支えるための適切な事例を用いることができた。（思考）

【現代の国語】⑤　　　一年（　　）科（　　　）番　氏名（　　　　　　　　　　　　　）

意見文　振り返り

一、裏面の自己評価を記入する。

二、【回し読み】

※コメントの例：回ってきた意見文を読んで、新しい発見があったかコメントする。

　　　　　　　　読んだ意見文の結論が、自分のこれまでの価値観と近かったかコメントする。

　　　　　　　　書かれたテーマについて、自分の考えを新たに提案してみる。

コメント　　氏名（　　　　　　　　　　）

コメント　　氏名（　　　　　　　　　　）

コメント　　氏名（　　　　　　　　　　）

コメント　　氏名（　　　　　　　　　　）

コメント　　氏名（　　　　　　　　　　）

コメント　　氏名（　　　　　　　　　　）

【自己評価】　※教科書　一九四ページ参考

・理解しやすく適切な語彙や表現を用いて書くことができた。（知識）（　◎　・　○　・　△　）

・論の展開の仕方を取り入れて書くことができた。（思考）　　　　（　◎　・　○　・　△　）

・何が結論なのか、明確に書くことができた。（思考）　　　　　　（　◎　・　○　・　△　）

・結論を支えるための適切な事例を用いることができた。（思考）　（　◎　・　○　・　△　）

三、振り返り

※他の人の意見文を読んだうえで、自分の意見文を読み直し改めて考えたことを書く。

　今回の「意見文を書く」という活動をやってみて考えたこと、学んだことを書く。